

『大崎武道館が全国大会出場！』

6月15日(日)、日置市伊集院町総合体育館で行われた『第43回鹿児島県少年剣道錬成大会』に大崎武道館が出場し、小学生団体の部で3位、中学生団体の部で見事優勝を果たし、7月29日～30日に東京の日本武道館で開催される『第43回全日本少年剣道錬成大会』への出場を決めました。

また、小学生個人の部で久徳衛君（大崎小学校6年）が3位、中学生個人の部では森永健太君（大崎中学校3年）が熱戦を勝ち抜き、県中学生剣士の頂点に立ちました。

全国大会での、活躍を期待しています。



『曾於地区消防操法大会！』

7月20日(日)、鹿児島県消防協会曾於支部操法大会が大隅町で行われ、曾於地区2市1町の各代表が、日ごろの訓練の成果を競い合いました。

大崎町からは町の操法大会で優勝した中央分団（小型ポンプの部）と菱田分団（ポンプ車の部）が出場しました。

惜しくも両分団とも準優勝という成績でしたが、自分の仕事もあるなか、3か月にもわたる訓練をやり遂げ、見事な操法を披露した隊員に、惜しみない拍手が鳴り響いていました。

『心でつなぐ“あんしん志布志・大崎”フェスタ』

7月20日(日)、犯罪や交通事故・災害等のない“安心・安全なまちづくり”を地域住民と一緒に盛り上げようと『心でつなぐ“あんしん志布志・大崎”フェスタ』が志布志警察署と隣の大浜緑地公園で開催されました。

当日は、志布志市、大崎町などから約7,000人が参加し、地域住民の代表4名により「あんしんあんぜん宣言」が読み上げられました。

セレモニーの後、志布志港を舞台としたテロ対処訓練や災害救助訓練、県音楽隊の「ふれあいコンサート」、地域住民による特産品展示や飲食物販売などの「あんしん・あんぜん市場」、指紋採取体験、ちびっ子免許証作成などがあり、様々な催しを通して安全意識を高めていました。

